

令和3年8月17日（火）

夏季休業中における新型コロナウイルス感染症拡大防止について

夏休み期間以降、県内において、児童生徒の感染者がこれまでになく急増している状況にあります。

以下の事例を参考に、感染を拡大させる可能性のある行動は控え、感染症対策を改めて徹底してください。なお、県内において、様々な場面でクラスターが発生していることから、集団での活動については、その必要性を十分検討してください。

【事例】

- 友人等と食事やバーベキュー、キャンプを行ったり、友人の家に宿泊したりした後で感染し、多数の陽性者や濃厚接触者が判明した。
- 緊急事態宣言が出されている都道府県への往来後、感染が判明した。
- 陽性となった保護者から、児童生徒を含めた家族全員が感染するケースが増えた。
- 一度陰性になった後に発熱し、再検査で陽性となるケースが増えた。
- スポーツ・文化活動や活動後の食事、ミーティングにより、感染が拡大した。